



2019年12月19日

各位

インフラファンド発行者名
東京インフラ・エネルギー投資法人
代表者名 執行役員 永森 利彦
(コード番号 9285)

管理会社名
東京インフラアセットマネジメント株式会社
代表者名 代表取締役社長 永森 利彦
問合せ先 取締役管理本部長 真山 秀睦
(TEL: 03-6551-2833)

2019年12月期の運用状況及び分配金の予想の修正に関するお知らせ

東京インフラ・エネルギー投資法人（以下、「本投資法人」といいます。）は、2019年8月22日に公表した2019年12月期（第4期）（2019年7月1日～2019年12月31日）の運用状況及び分配金の予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

なお、2019年8月22日に公表した2020年6月期（第5期）（2020年1月1日～2020年6月30日）及び2020年12月期（第6期）（2020年7月1日～2020年12月31日）の運用状況の予想については変更ございません。

記

1. 修正の内容

2019年12月期（第4期 2019年7月1日～2019年12月31日）運用状況及び分配金の予想の修正

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1口当たり 分配金 (利益超過分配金 は含まない)	1口当たり 利益超過分 配金(注)	1口当たり 分配金 (利益超過分配金 を含む)
前回発表 予想 (A)	400 百万円	123 百万円	83 百万円	83 百万円	1,552円	1,336円	2,888円
今回修正 予想 (B)	368 百万円	91 百万円	51 百万円	51 百万円	857円	1,338円	2,195円
増減額 (B-A)	△32 百万円	△31 百万円	△32 百万円	△32 百万円	△695円	2円	△693円
増減率	△8.1%	△25.9%	△38.6%	△38.6%	△44.8%	0.1%	△24.0%

(注)2019年12月末時点における金利スワップの評価損益は2019年6月期末時点から変動がないものとしています。また、利益超過分配金(出資の払戻し)については、2019年12月期に見込まれる減価償却費の28.0%としています。

2. 修正の理由

毎月公表している「保有資産に係る月次の発電量実績に関するお知らせ」の通り、当期の発電実績は、天候不順を主因として2019年7月～2019年11月までの5か月累計において、発電量予測値に対し91.7%の達成状況にあり、当期残存日数を考慮しましても未達の状況が見込まれます。その結果、発電量の実績に応じて本投資法人が受け取る賃料も予想を下回る見込みであり、各段階利益においてもかかる収入減の影響を受け、2019年8月22日に公表した直近の予想値を経常利益及び当期純利益において30%以上、1口当たり分配金において5%以上下回ることが見込まれるため、業績予想の修正をするものです。なお、本業績修正は構造的要因によるものではなく、当期の天候要因によるものであり、第5期以降の予想に影響を与えるものではありません。

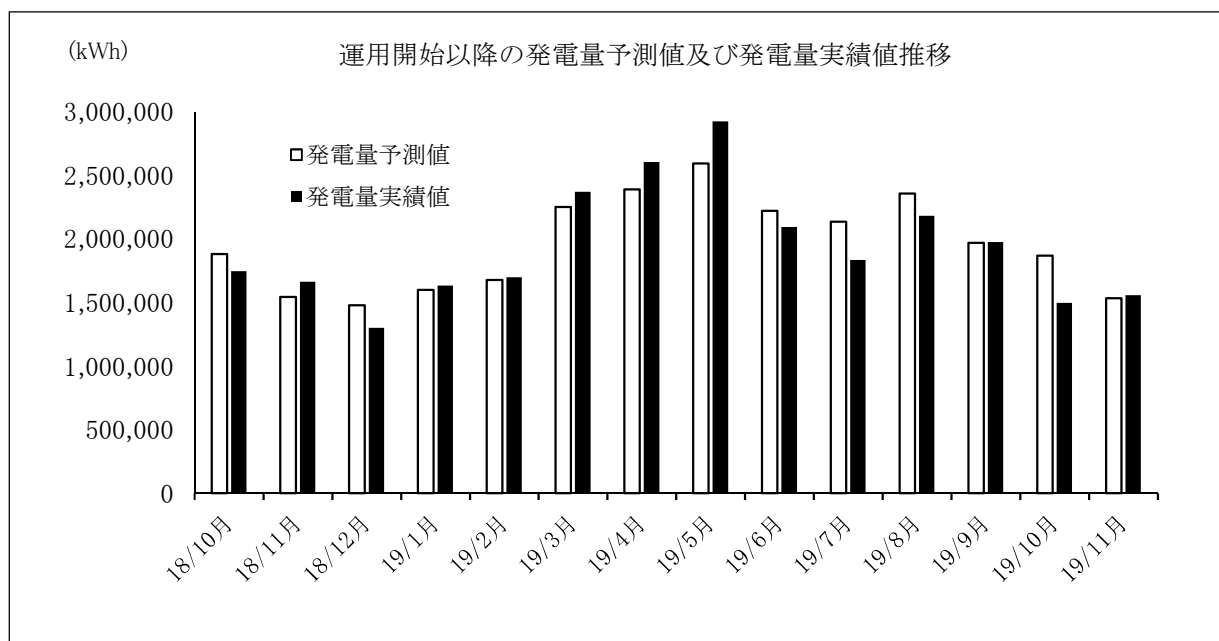
3. 発電量予測値及び発電量実績値について

本投資法人の運用状況の予想策定時における発電量は、「発電量が発電量予測値（P50）になること」を前提として算出しています。かかる「発電量予測値（P50）」とは、超過確率P（パーセンタイル）50の数値を採用しており、50%の確率で達成可能と見込まれる数値です。

本投資法人は2018年10月より運用を開始し約14か月経過しておりますが、月次ベースでの発電量予測値に対する達成率が100%を超えた月数は8か月あります。当期のように、特定の期間において天候不順等の影響により達成率が100%を下回ることも起こり得ますが、長期間の合計に基づく達成率においては発電量予測値との乖離幅が緩和されることが見込まれます。

■ 運用開始以降の発電量予測値及び発電量実績値推移

期		発電量予測値	発電量実績値	差異	達成率
		(kWh) A	(kWh) B	(kWh) B-A	B/A×100
第2期	2018年10月	1,880,341	1,746,599	△133,742	92.9%
	2018年11月	1,544,069	1,663,093	119,024	107.7%
	2018年12月	1,477,445	1,299,011	△178,434	87.9%
第3期	2019年1月	1,598,707	1,632,270	33,563	102.1%
	2019年2月	1,677,684	1,697,017	19,334	101.2%
	2019年3月	2,251,896	2,370,309	118,413	105.3%
	2019年4月	2,388,948	2,602,702	213,755	108.9%
	2019年5月	2,594,572	2,923,165	328,593	112.7%
	2019年6月	2,220,224	2,091,520	△128,704	94.2%
第4期	2019年7月	2,135,409	1,834,608	△300,801	85.9%
	2019年8月	2,357,594	2,179,760	△177,834	92.5%
	2019年9月	1,970,010	1,975,710	5,700	100.3%
	2019年10月	1,868,878	1,496,923	△371,955	80.1%
	2019年11月	1,534,673	1,557,246	22,573	101.5%
	2019年12月	—	—	—	—
	第2期～第4期計	27,500,450	27,069,933	△430,515	98.4%





【ご参考】

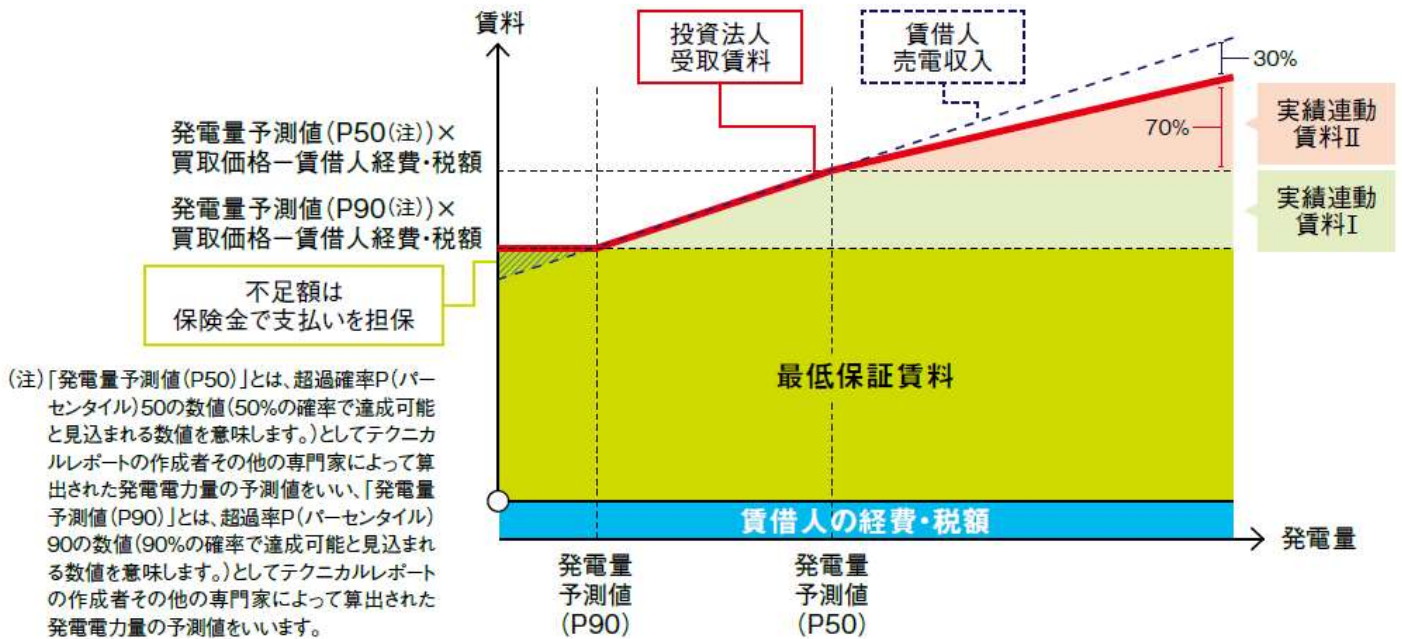
1. 運用開始以降の業績動向

	第2期(2018年12月期)			第3期(2019年6月期)		
	予想(注1)	実績	差異	予想(注2)	実績	差異
営業収益	168百万円	164百万円	△4百万円	446百万円	467百万円	+21百万円
営業利益	40百万円	43百万円	+3百万円	174百万円	183百万円	+9百万円
経常利益	15百万円	19百万円	+4百万円	133百万円	143百万円	+10百万円
当期純利益	14百万円	16百万円	+2百万円	133百万円	143百万円	+10百万円
1口当たり分配金 (注3)	640円	651円	+11円	3,987円	4,203円	+216円

(注1) 2018年9月14日付公表予想。
 (注2) 2019年2月22日付公表予想。
 (注3) 利益超過分配金を含みます。

2. 賃貸スキームの概念図

本投資法人の賃貸スキームにおいては最低保証賃料を導入しており、発電量実績値が発電量予測値(P90)を下回った場合に、費用・利益保険(日射量保険)による保険金の支払い受け、最低保証賃料を確保する仕組みとなっています。



以上

※本投資法人のホームページアドレス：<https://www.tokyo-infra.com/>